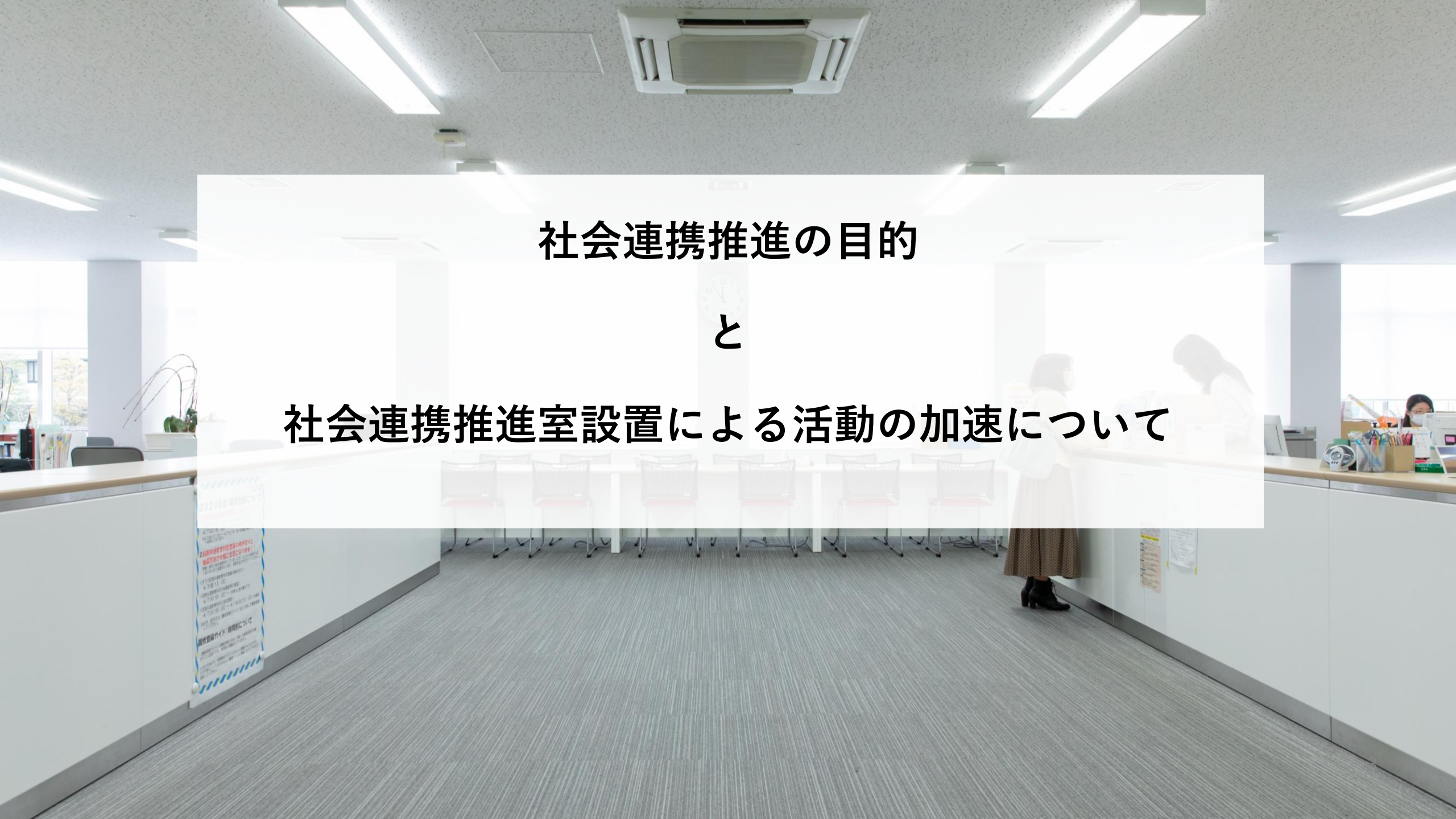


実践女子学園 「社会連携」と「グローバル化」の推進について

学園の「社会連携」の推進について



社会連携推進の目的

と

社会連携推進室設置による活動の加速について

社会連携への発展を目的とした「オリパラ事業連携推進室」の設置（2018年4月）

TOKYO2020オリパラJJプロジェクトコンセプトシート

2017. 7. 21（学長室）

実践女子大学 ビジョン

- (1) 世界と地域に貢献する「実践女子」を輩出する高等教育機関としての確固たる地位を獲得する。
- (2) 女性の自立と社会的進出を推し進め、社会で活躍する「実践女子」を支援する教育・研究拠点となる。

プロジェクト・コンセプト

渋谷再生2030「つなぐ」

- 創立120周年を迎える2019年に16万人のOGをつなぐ
- 2020年の開催時には、渋谷を訪れる外国人と実践女子学園をつなぐ

プロジェクト・アクションプラン

- 国際理解とキャリア形成（I・II）（大学生と社会）
- オリパラ特別講座（大学生と企業）
- インテグレート・イングリッシュ（大学生と地域）
- 常磐祭イベント（大学生と地域）
- 女子大生フォーラム（女子学生と女子学生）
- 高大連携フォーラム（大学生と高校生）
- 渋谷区連携事業（S-SAP）（大学と自治体）
- 渋谷のラジオ（大学生と地域）
- ボランティア参加（大学生と地域）
- キャンパスイベント（大学生と地域）
- 学内外連携イベント（例：【日タイ】大学生と留学生）
- OPコラボ（大学生と企業）
- 経済界協議会（産官学連携）プログラム（大学生と企業）
- Jフェス2019（実践女子（在学生・卒業生）と地域）
- 本大会（みんながつながる、みんなでつながる）

プロジェクト・レガシー（将来ビジョン）

実践女子大学「国際交流・社会貢献のプラットフォームの実践」

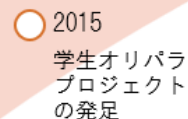
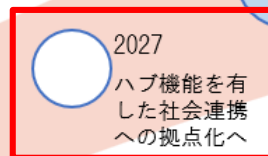
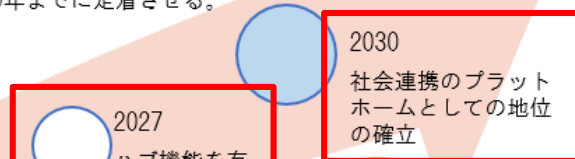
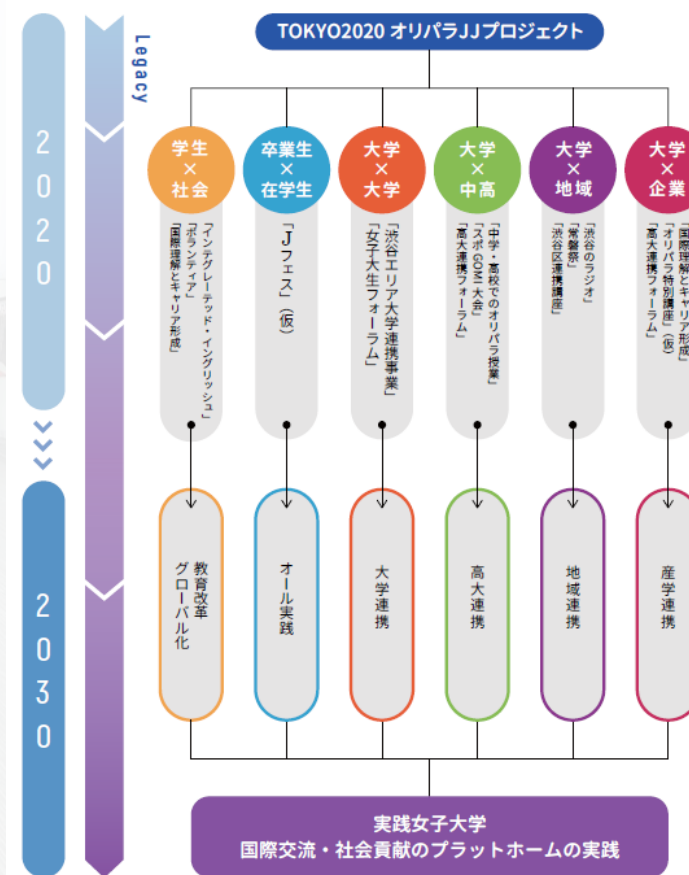
本大会のレガシーとして、当プロジェクト終了後は、蓄積した知見やネットワークを基軸とした社会連携プラットフォームへ発展的転換を目指す。オリパラでつながったOGや中高生、産業界、地域、自治体等を社会連携の観点から「つなぐ」ことで、Global化する新生“SHIBUYA”において文化的機能を担う高等教育機関となる。これらの取組みを通じて活動的・実践的な大学イメージを2030年までに定着させる。

オリパラレガシーとしての「社会連携」への発展へ

渋谷再生2030

CONCEPT 「つなぐ」

TOKYO2020 オリパラJJプロジェクト



2019 創立120周年

渋谷駅前開発完了

2014

2015

2017

2020

2027

2030

...

社会連携推進の目的

■“実践の実践”の強みとして社会連携を位置づけ、これを強化することで学園全体の競争力を高める。

⇒以下の成果につなげる。

- ①教育機会の提供により学生の成長を促進する（出口につながる）
- ②シンボリックな“連携先”のブランドを活用し学びの魅力を強化する（入口につながる）

■既存案件の可視化×（シンボリックな）新規連携先の獲得×発信によるブランディング

■連携のタイプは様々あるが、徐々にノウハウを蓄積し、型化する。

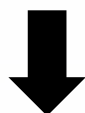
“実践の実践”の強みとして社会連携を位置づけ、学生の成長と学園のブランディングに結び付ける

社会連携の加速を目的とした 社会連携推進室の設置（2021年4月）

社会連携活動を加速させるべく、2021年に社会連携推進室を設置。特に、①シンボリックとなる新規社会連携開拓と学園内情報集約・発信を行うことで、「実践といえば社会連携」というブランドを確立させる。

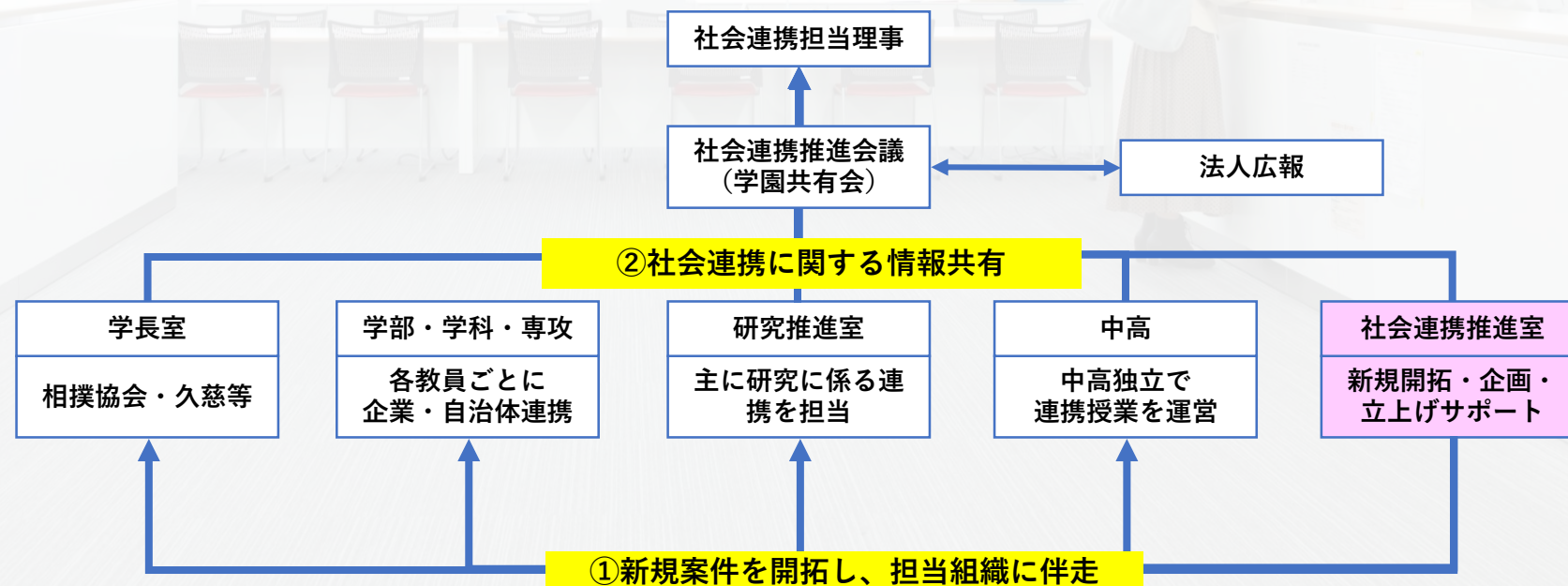
社会連携推進室設置前

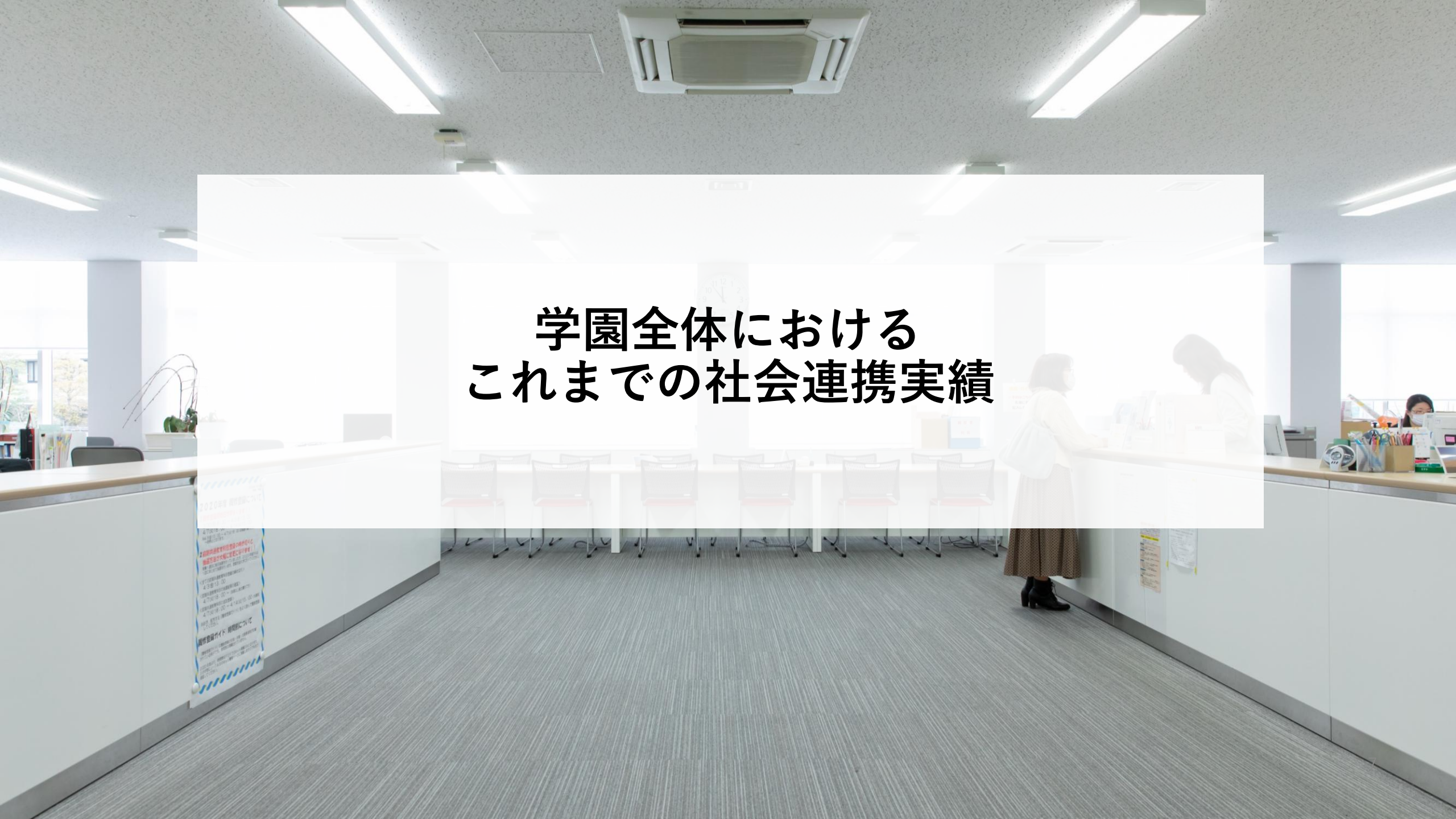
基本的に、授業・研究活動・課外活動など、それぞれの組織が独立して活動していた。



社会連携推進室設置後

- ①特に、新規の社会連携案件の開拓・企画・立上げの伴走を社会連携が行う。
- ②また、組織間の情報共有についても社会連携が担当し、社会連携担当理事（難波先生）のもと、社会連携推進会議を実施。
必要に応じ、法人広報と連動し情報発信を行う。





学園全体における これまでの社会連携実績

連携実績(過去4年の推移)

本学の企業・組織との連携実績(2024年実績) : 学園全体で **209** 件



《2024年度 社会連携活動抜粋(一部)》

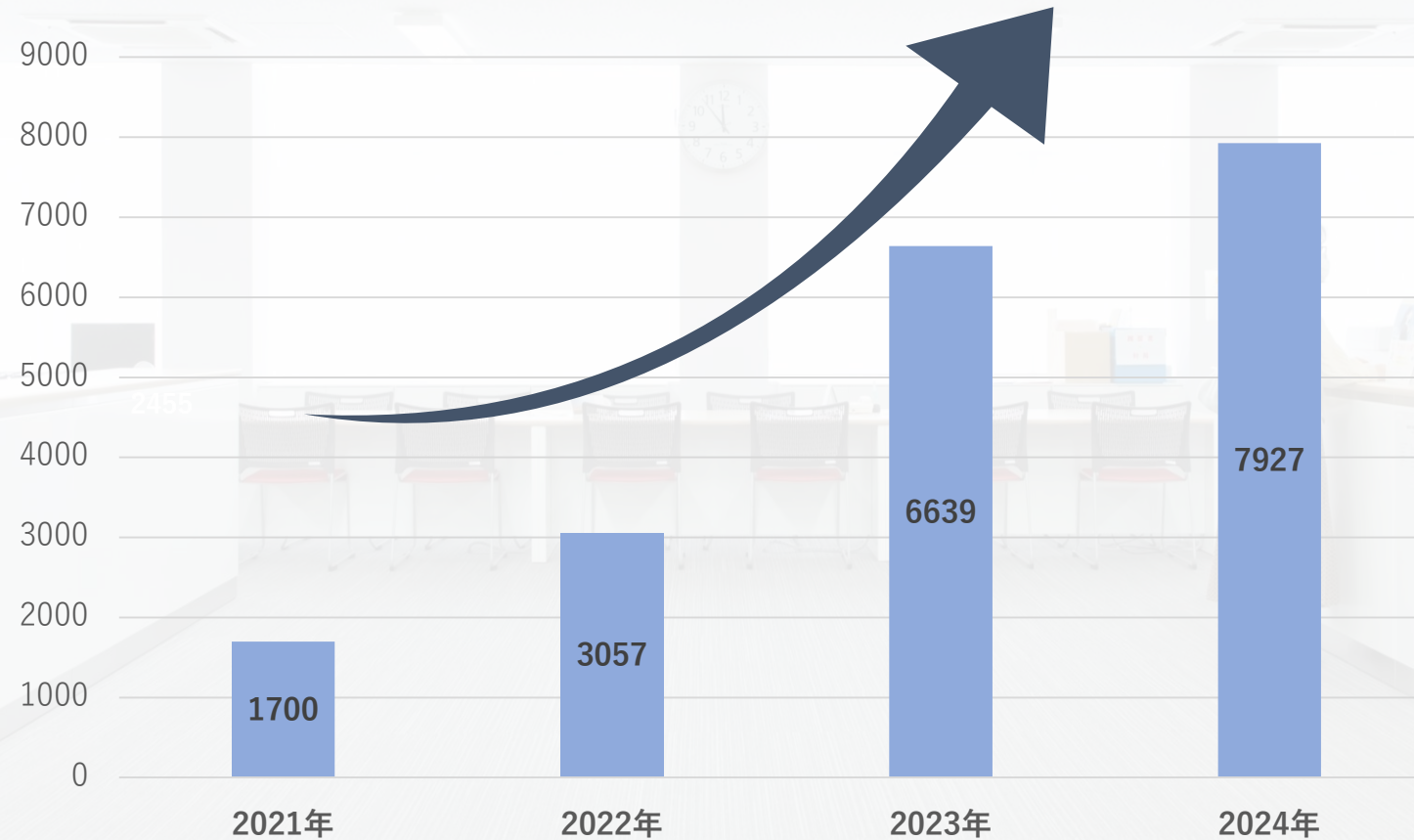
AGCグループ
日本航空株式会社
味の素株式会社(JISSENウェルビーイングプロジェクト)
久慈市いわて平庭高原闘牛会
日野市(みらいく)
株式会社トキオ・ゲッツ×株式会社クロス・マーケティング
三越伊勢丹ホールディングス
セガサミーホールディングス
株式会社ホリプロ
株式会社良品計画
東洋製罐株式会社
株式会社資生堂
日本相撲協会プロジェクト
株式会社サイバーエージェント
サニーサイドアップグループ
日本ロレアル株式会社
株式会社オリエンタルランド
毎日新聞社(学びのフェス)
サントリーホールディングス
電通デジタル・アサヒビール合同出資会社(スマートドリンクング)
※実践女子学園 社会連携プログラムホームページより抜粋

連携先開拓・機会創出も順調に増加している

参加する生徒・学生の詳細(過去4年の推移)

社会連携参加学生数実績(2024年度実績): 学園全体で **7,927**人

社会連携 参加学生/生徒数の推移(延数)



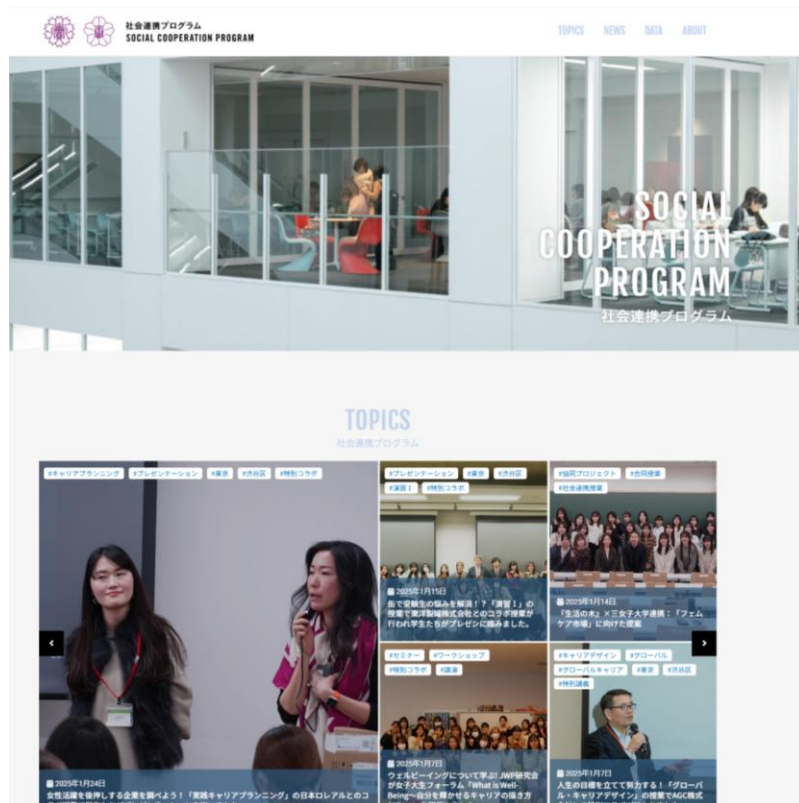
参加する生徒・学生数も順調に増加している



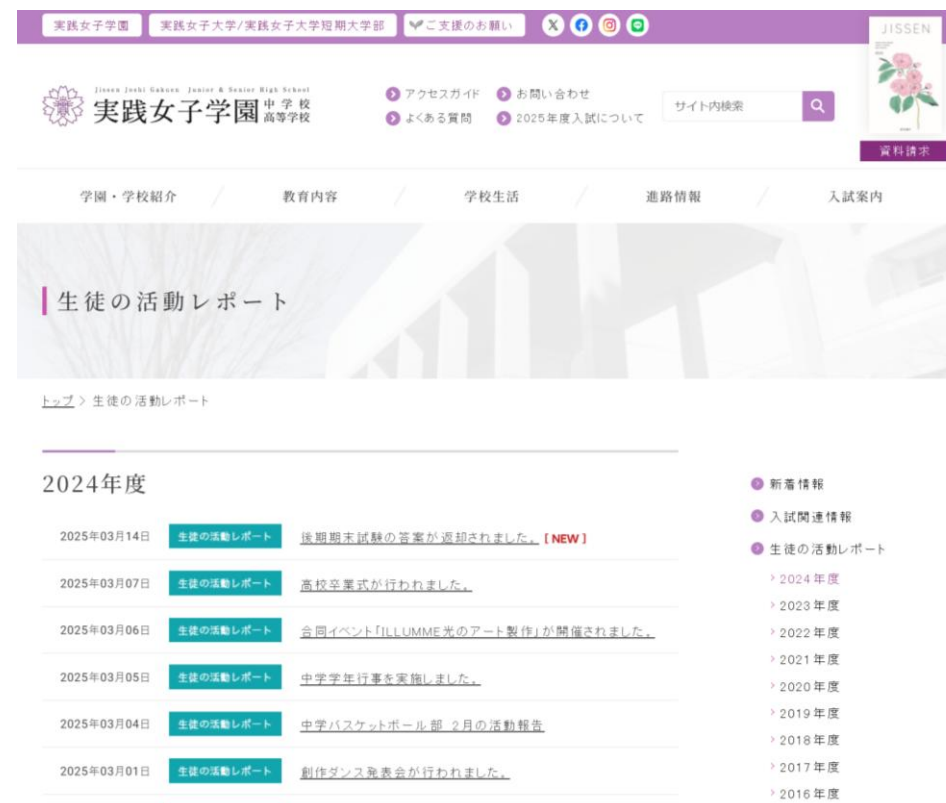
参考 社会連携実績 詳細

社会連携ホームページのご紹介

実践女子学園では、大学・短期大学部・中高における社会連携活動について、特設サイトや中高ホームページでご紹介しております。是非、ご覧ください。



実践女子学園 社会連携プログラムホームページ
<https://socialcooperation.jissen.ac.jp/>



実践女子学園 中学校高等学校ホームページ
https://hs.jissen.ac.jp/report/year_2024/index.html

社会連携事例の紹介（日本ロレアル様）

大学

2025年1月24日

女性活躍を後押しする企業を調べよう！「実践キャリアプランニング」の日本ロレアルとのコラボ授業で学生たちがプレゼンテーションを行いました。

共通科目の「実践キャリアプランニング」（担当：文学部国文学科 深澤晶久教授）の授業で日本ロレアル株式会社との特別コラボが行われました。ロレアルパリの女性活躍に対する思いや活動を学び、同じように「女性をエンパワーメント（勇気づけ後押しする）する活動を行っている企業や団体を調査する」という課題が出されました。学生はそれぞれ班に分かれグループで調査を進め、いよいよプレゼンテーションです。最終プレゼンは12月13日と20日の2回に分けて行われ、それぞれ6チームずつ発表しました。



社会連携事例の紹介（日本航空様）

大学

2025年1月27日

地域活性化の施策を考えよう！「実践キャリアプランニング」の授業でJALとコラボし、学生たちがプレゼンテーションを行いました。

「実践キャリアプランニング」（担当：文学部国文学科 深澤晶久教授）で、日本航空株式会社（以下、JAL）との特別授業が行われました。JALから課題が出され学生たちは10班に分かれてグループワークに取り組みました。テーマは「地方が地域活性化する施策を考える」です。学生たちは、地域選びから自分たちで行い調査し施策を考案。12月に2週に渡り臨んだプレゼンテーションの様子をご紹介します。



社会連携事例の紹介（サニーサイドアップグループ様）

大学

2024年12月13日

女性がたのしく活躍できる社会をめざそう！サニーサイドアップグループの次原悦子氏をお招きして特別講義が行われました。

////////////////////////////////////
10月21日に「メディアプロデュース論」（担当：生活科学部現代生活学科 行実洋一教授）と「女性社会論b」の合同授業が行われました。株式会社サニーサイドアップグループの代表取締役社長である次原悦子氏をお迎えしての特別講義です。高校生のときから働いて今に至る経緯、PRという仕事のたのしさ、そして女性がもっと活躍していくためにはなど多岐に渡る話題を、ユーモアを交えてお話くださいました。



社会連携事例の紹介（セガサミーホールディングス様）

大学

2024年11月15日

人気ゲームの企画立案！？セガサミーホールディングスと「文化の盗用」について学び、実践する特別コラボ授業が行われました。

10月29日に「海外の日本文学」（担当：国際学部国際学科 大塚 みさ教授）の授業でセガサミーホールディングス株式会社との特別コラボが始まりました。「文化の盗用」について知り、どう付き合っていくかを実地で学ぶこの授業。社会の最先端にいる企業に協力いただき、世界の広がりを感じることができる貴重な機会となりました。



社会連携事例の紹介（サイバーエージェント様）

大学

2024年11月20日

生成AIを使ってみよう！ゼミ「演習ⅡB」でサイバーエージェントとのコラボ授業が行われました。

10月1日に「演習ⅡB」（担当：人間社会学部人間社会学科 粟津 俊二教授）のゼミで、株式会社サイバーエージェントの川越寛之氏による特別授業が行われました。広告事業に生成AIの利用を積極的に取り入れている企業の方から、生成AIの使い方を学びます。学生たちは実際に動かしながら、仕組みや注意点を確認しました。



社会連携事例の紹介（ライフイズテック様）

中高

■ 「最先端の生成AIを学ぶ スペシャル1 DAYプログラム 第二弾」を実施しました。

2024年12月25日

12月18日（水）ライフイズテックによる「最先端の生成AIを学ぶ スペシャル1 DAYプログラム」を実施しました。今回は7月に実施したプログラムの第二弾です。最先端のIT技術を学びながら、生成AIを使って、世界にひとつだけのオリジナルの映像を作りました。



社会連携事例の紹介（「届けよう“服のチカラ”プロジェクト」）

中高

■ 「届けよう“服のチカラ”プロジェクト」のご報告

2024年12月20日

実践女子学園中学校高等学校のユネスコ委員を中心とする生徒たちが、ユニクロ・GUを展開する株式会社ファーストリテイリングの「届けよう“服のチカラ”プロジェクト」に参加しました。

今回は、ユネスコ委員からの活動報告をお届けします。

ユネスコ委員の生徒より

「届けよう“服のチカラ”プロジェクト」にご協力いただきありがとうございました。

この度皆様のご協力のおかげで、ダンボール15箱分の衣服を届けることができました！

在校生だけでなく、ときわ祭やオープンスクールの際には来校者の皆様も多くのお洋服を届けてくださいました。隣接する常磐松小学校の皆さんからもご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

私たちユネスコ委員は引き続き新しいプロジェクトに取り組んでいきますので、今後の活動もご注目ください。最後に改めて、この度はご協力くださり誠にありがとうございました。



社会連携事例の紹介（山崎製パン様）

中高

- 生徒が企画したランチパックが、10月より関東エリアで販売開始しました！

2024年10月09日

今年度も山崎製パン株式会社全面協力のもと、コラボレーションのランチパックを企画しました。

このプロジェクトは、昨年度から始まった山崎製パン(株)とのランチパック共同企画開発の第二弾です。

1月より発足したプロジェクトチームがフィリングの味、商品名、パッケージのデザインまでチーム内で話し合い・検討を重ね、商品を開発しました。

今年度の中身は、ミートチリフィリング、アボガドチーズクリームです。

商品名は「う～タコス」!! 実践女子学園の創立者 下田歌子のうたことタコスを掛け合わせ、生徒のアイデアでこの商品名となりました。

このランチパックは本校の文化祭「ときわ祭」で先行販売し、約7千個が完売となりました。10月より、関東エリアのスーパーなどで販売されています。

ぜひ実際に手に取ってご確認ください！



社会連携事例の紹介（日本相撲協会様）

中高

■ 大相撲初場所ボランティアに高校生が参加しました

2025年01月28日



1月12日（日）より開幕した大相撲初場所のボランティアに高校生3人が参加しました。

学園と日本相撲協会は2017年12月、包括的連携協定を締結しました。これまで大学生が先駆けとして商品開発や販売のボランティアを行っていましたが、高大連携の一環として3年前から高校生も大相撲の販売ボランティアに参加しています。

今回の販売ボランティアでは、「親方販売すも〜」で相撲グッズの販売補助を行いました。大相撲グッズはなんと400種類以上あり、売店ではたくさんのグッズが販売されています。ボランティア当日は日曜日ということもあり、とても多くの方が売店にもいらっしゃいました。そのため生徒たちは休む暇もなく品出し作業を行っていました。また、品出しだけでなく、番付表を商品として陳列するためにするセット組も体験しました。日本相撲協会の方からも、「売り物になるものだから丁寧に作業をしましょう。」と伝えられ、緊張しながらも真剣に取り組んでいました。

ボランティア終了後には幕内を観戦し、「迫力がテレビとは全然違う！」と、初めての観戦に興奮していました。特に結びの一番の取り組みでは、力士の動きの一つ一つに目が釘付けになり、相撲の奥深さを改めて感じていました。



今後の新たな取り組み

JISSEN PLAY BASEの設置（渋谷1F）

< 学生活動の活性化 & 企業接点強化 >

企業のマーケティングニーズに応えるマルチスペース。

企業と学生接点を作りながら、企業と本学の連携を深めるために11月に設置！！今後、多数の企画を実施予定。



完成イメージ

PLAY JISSEN BASE

誕生

渋谷キャンパス
創立120周年記念館
1階 プラザ内

「学生」と「社会」をつなぐマルチスペース

この度、渋谷キャンパスに、企業の商品展示やアンケート・ニーズ調査ができる「JISSEN“PLAY!”BASE」をオープンいたしました！

この「JISSEN“PLAY!”BASE」では、実践女子大学と繋がりのある企業の商品に触れたり、購入できたりできる場にしていただいています。実践生のリアルな声やニーズを、企業様の新たな気付きやアイデアに繋げられる場にできればと思っています。学生の皆さんには「JISSEN“PLAY!”BASE」で実際に体験や商品に触れることで楽しんでいただければと思います！詳細は絶賛企画中です。楽しみにしてください！

あわせて、本学では、企業様のご協力のもと、学生皆さんと社会を繋ぐプロジェクトをどんどん企画・実施したいと考えています。「渋谷」という街の活気を背景に、企業や自治体により身近に感じることのできる。そんな空間を創出していきます。気軽に足を運べるような場にしたいと思いますので、ぜひご期待ください！



学園の「グローバル化」の推進について



これからの社会環境の下、学生生徒が生き抜いていくためには、国際感覚を身につけ、多様な価値観を持つ国内外の人々との理解、協力を築いていくことが必須と考えられる。よって、学園として「グローバル化」を教育の柱に据えて、中高、大学、それぞれで取り組んできた。

対象となる学生生徒の年齢などが異なるため、「グローバル化」の進め方は、中高、大学では異なる。中高においては、教育全体を「グローバル化」（グローバル教育）と連動させて進めている。大学においては、より実践的な「グローバル化」という観点で、将来のキャリアも見据えて推進している。

中高、大学、それぞれ進め方や考え方は異なる部分もあるが、今後の展開においては、それぞれの目的を踏まえつつ、連携・協業を進めることで、学園としてさらに「グローバル化」を強く推進することができると考える。



大学のグローバル化推進について

大学では、2015年、2022年の学長への「答申（提案）」のもとに「グローバル化」を進めてきた。



グローバル化推進の目的

なぜグローバル化するのか

本学をグローバル化する目的について明確化する。キーワードは「人材育成」「競争力強化」「少子化対策」

【教育的戦略】

グローバル人材育成

グローバルマインドを修得するための教育的戦略

学生の海外派遣、受入留学生増による「多様性」の実感

【差別化戦略】

大学競争力強化

他大学のグローバル戦略との差別化

教育リソースの活用による実践的「グローバルキャリア」の展開

【生き残り戦略】

18歳人口減対応

18歳人口の減少に対応した持続的な発展戦略

正規留学生の確保と多様性を感じるGlobal Campusの構築

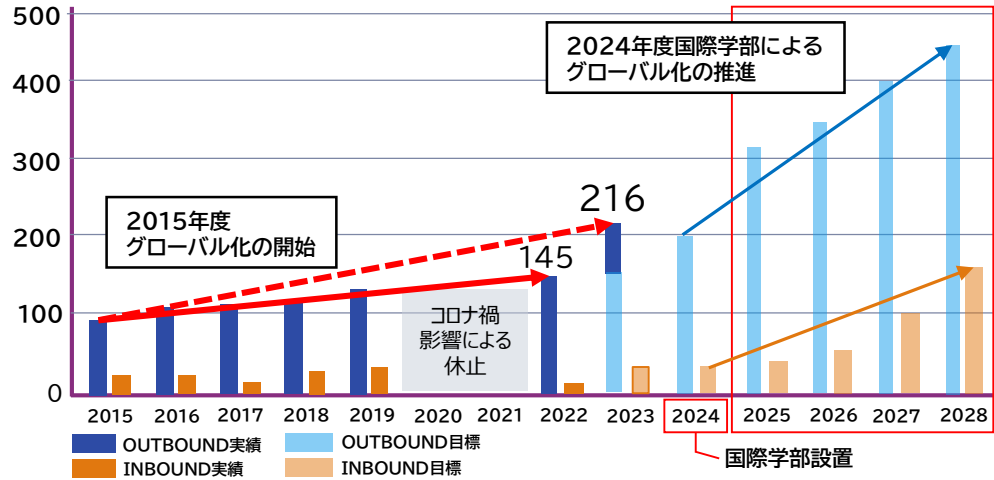
グローバル化推進の 目的

【教育的戦略】
グローバル人材育成

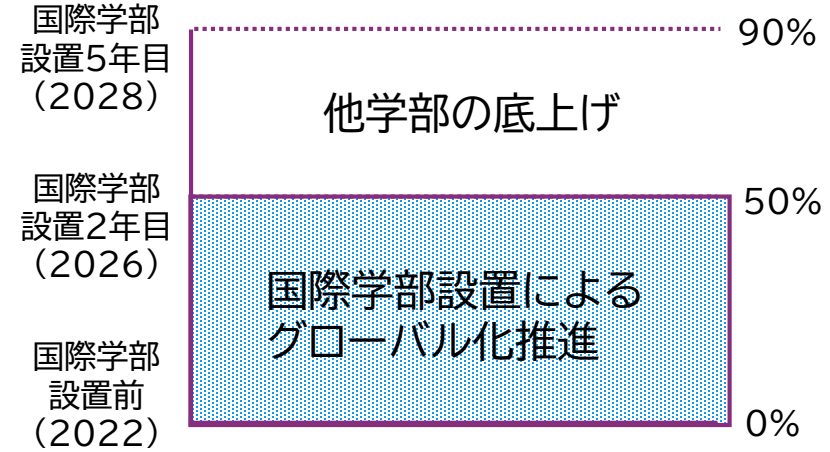
【差別化戦略】
大学競争力強化

【生き残り戦略】
18歳人口減対策

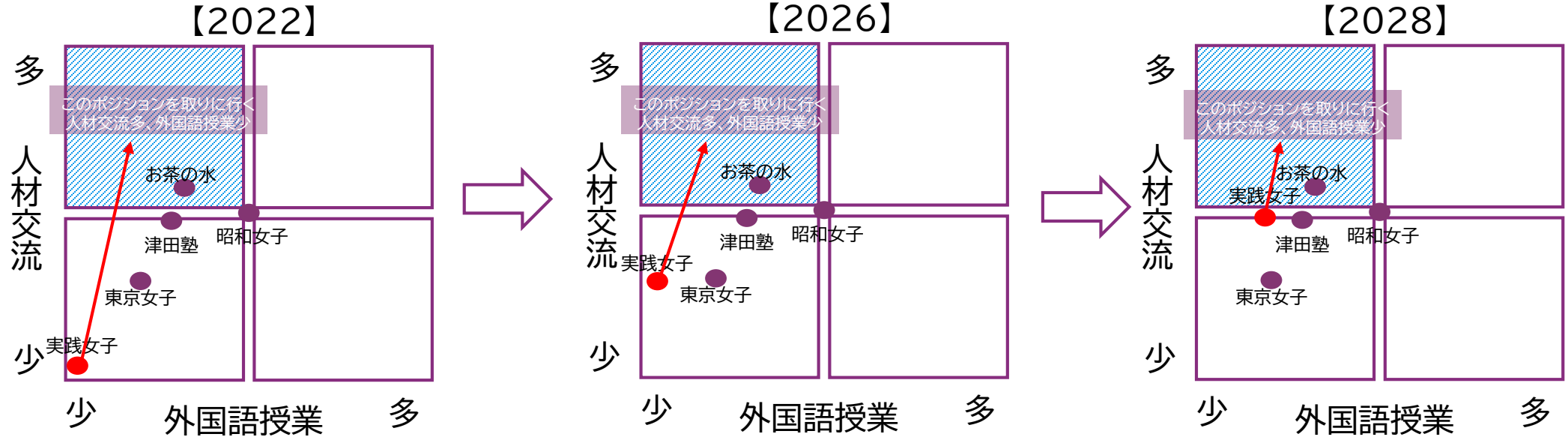
グローバル化推進の状況と将来



国際学部設置によるグローバル推進状況



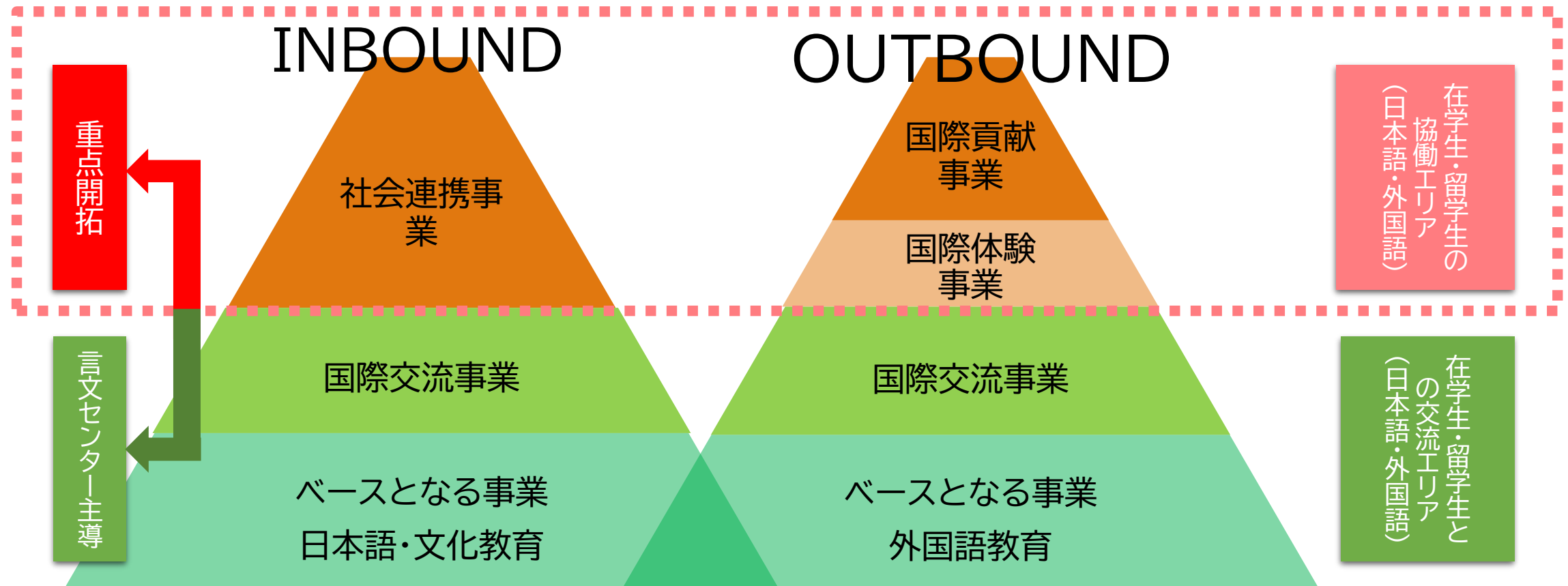
グローバル化推進の大学間ポジショニングマップ





グローバル化推進のコンセプト

本学のグローバル化戦略の方針＝「グローバル×キャリア×社会連携」



「グローバル」×「キャリア」×「社会連携」

外国語「を」学ぶ → 外国語「で」学ぶ へ

グローバル化推進の施策



施策1: 「INBOUND」増

2028年度までに学部留学生、交換留学長期、短期受入などを含めて150名のINBOUNDを受け入れる。

国内・海外の協定校開拓

入試制度の見直し

渋谷キャンパスの有効活用（国内留学）

英語のみで学位のとれるコースの設置

留学生を増加させるための奨学金制度の見直し

留学生に対するキャリア・就職支援

施策2: 「OUTBOUND」増

コミュニケーション力が高く、多様性を受容れ、国際社会の中で自身のポジションを確立していける人材の育成を目的とする

グローバルインターンシッププログラム先の開拓と単位化

協定校の開拓

職員の「グローバルスタッフ」の設置

周辺施設の活用

グローバルな環境で働くための就職支援

施策3: 「MIND」チェンジ

学生および職員ともに、どこの国でも働ける適応力や異文化受容の育成を目的とする

学生のグローバルマインドの育成

教職員のグローバルマインドの育成

教職員のグローバルマインドの育成①

教職員のグローバルマインドの育成②



結果として「Global Campus」を構築する

1. 在学生の外国語・国際交流体験への関心を高める。
2. Outbound学生/Inbound学生を増加させる。
3. 帰国学生の国際交流事業への参加率を高める。
4. Inbound留学生在が本学で学ぶ環境を整備する。
5. 在学生と留学生在が共に学べる環境を整備する。

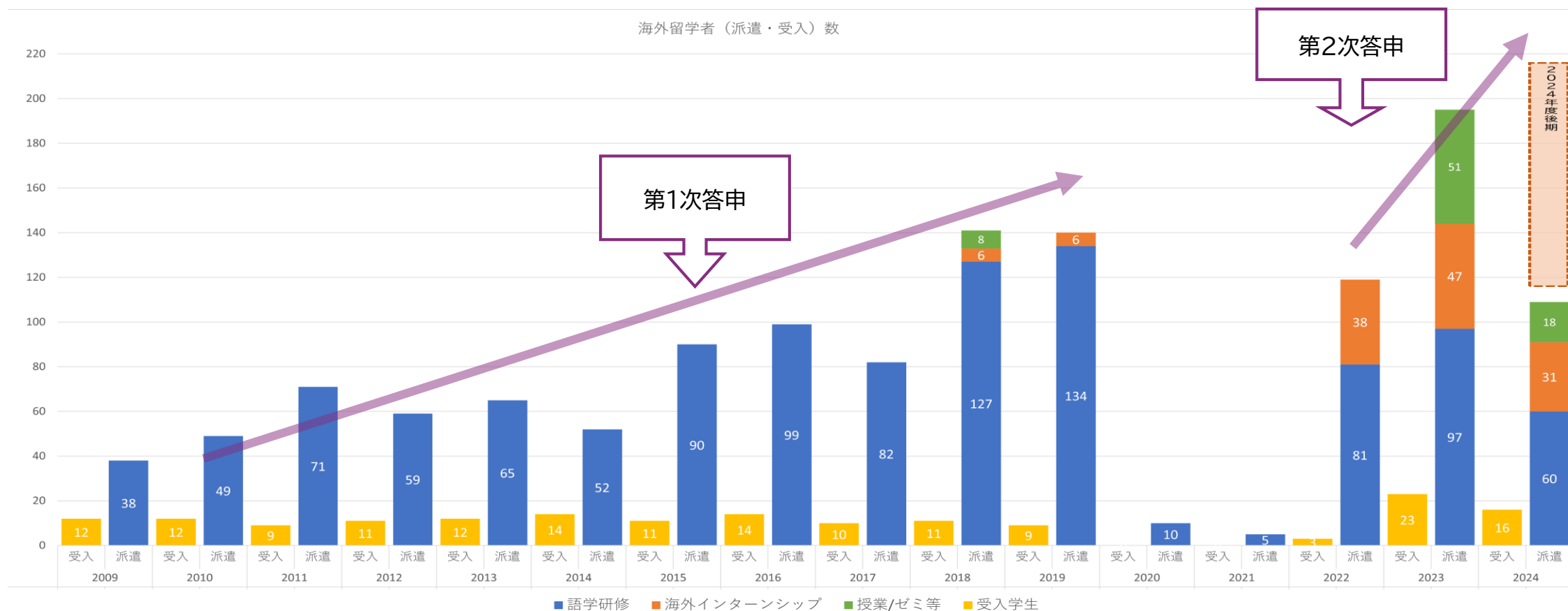
Global Campusとは・・・

実践女子大学の学生が、日本国内にいてもグローバル環境に触れられるように、多様なグローバルプログラムによって、留学生との接点が日常的にある状態であること。



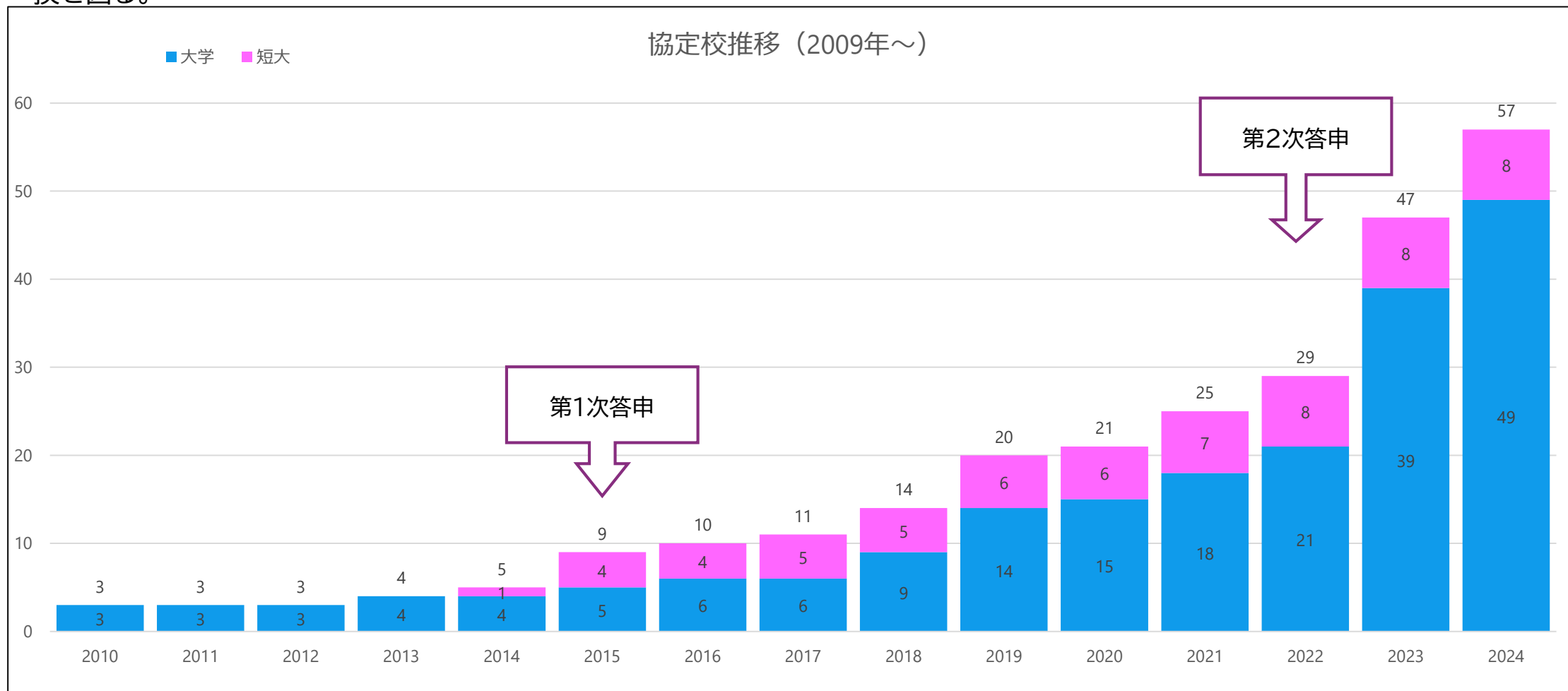
海外派遣(OUTBOUND)・受入(INBOUND)留学者数

- 2015年度の第1次答申の中で、派遣学生数の目標を200名、受入留学生の目標を100名と設定した。その後、派遣学生数は漸増したものの、目標は達成しなかった。
- コロナ禍をきっかけに、2022年度の第2次答申から、オンラインを含めた本学のグローバル化戦略の拡大を図り、語学留学中心だった2022年度以降の海外経験の定義を見直した。その結果、海外インターンシップや私費留学も実績に含めて、第1次答申の派遣学生目標である200名を達成した。なお、第2次答申では、派遣学生数の目標を学生全体数10%の450名、受入留学生数の目標を学生全体数3.3%の150名と設定とした。



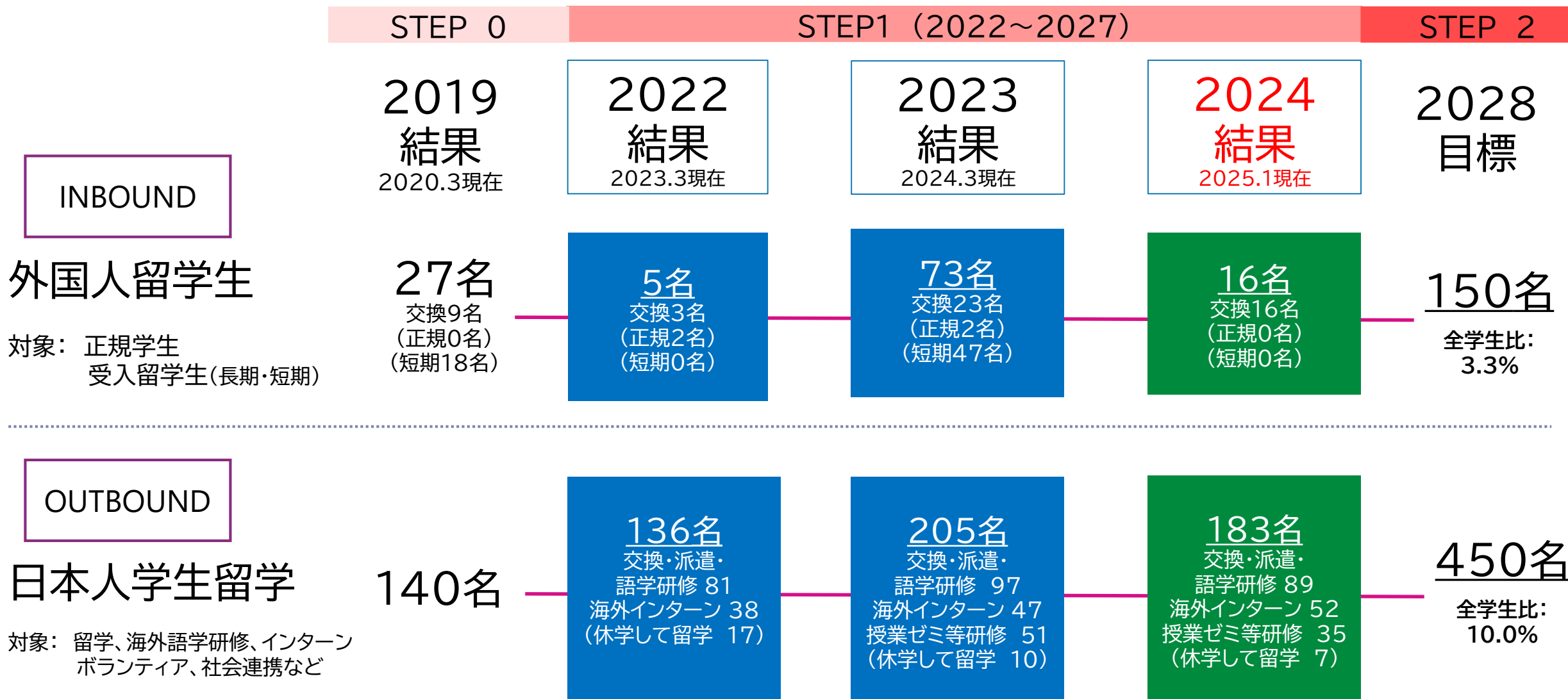
海外大学協定校数

- 女子大トップを目指すため、第2次答申にて55校、その後、上方修正し、65校と目標を再設定した。(当時のトップは京都女子大学:52校)
- 第2次答申を機に拡大路線を取ったため、協定校数が急拡大している。
- 今後は、学生の多様なニーズや大学の方針(ソーシャル・アントレプレナーシップ教育等)に対応した協定校開拓を行うとともに、量から質への転換を図る。





実績および目標数値





実績および目標数値

STEP 0

STEP1 (2022~2027)

STEP 2

2019
結果
2020.3現在

2022
結果
2023.3現在

2023
結果
2024.3現在

2024
結果
2025.1現在

2028
目標

OUTBOUND

協定校数(実数)
*海外協定校のみ

23校

29校

47校

57校

65校

OUTBOUND

海外連携企業数
(実数)

0社

0社

0社

21社

20社

※既に2028年度の目標を達成しており、今後、目標の変更も検討する。



(参考)2024年度の取り組み(事例)

JISSEN Global Way <創立125周年記念特別事業>

2024年6月2日(日)、実践女子学園の創立15周年記念イベントを渋谷キャンパスにて実施した。
「Jissen Global Way～実践社会で育てるこれからのグローバル化～」と題し、社会で活躍するグローバル人材の姿を考え、大学、中高のグローバル教育について理解を深めることを目的に、第1部としてフリージャーナリスト池上彰氏による基調講演・パネルトークを実施し、第2部として、大学、中高におけるグローバルな取り組み紹介を行い、多くの高校生や小学生、保護者の方に聴講いただいた。

125th Anniversary for Future
実践女子学園創立125周年記念特別事業

JISSEN GLOBAL WAY
～実践社会で育てるこれからのグローバル化～

定員 750名
参加申込制(先着順)
申し込みの場

2024 6.2 S 12:30-16:30
U (12:00開場)
N 渋谷キャンパス

申込締切 5/24 対象 学生・生徒とその保護者、関係者、賛助関係者、企業、卒業生等

1904年に日本の女子教育開拓で初めて留学生を招入れた歴史の宿舎を持つ実践女子学園。創立125周年を迎えるにあたり、中学校教育等が2022年11月にユネスコスクールに認定、大学は2024年4月に国際学部を新設するなど、グローバル化を機に推進することで社会からの注目を集めています。この度、実践女子学園では「学園創立125周年記念特別事業」の一環として、フリージャーナリストの池上彰氏をお招きし、「Jissen Global Way～実践社会で育てるこれからのグローバル化～」を開催します。

第1部 基調講演・パネルトーク
実践女子学園中学校高等部 12:30-14:45
基調講演 池上彰氏
これからグローバル社会と
そこで求められるとは？
池上彰氏
「池上彰氏(元NHKアナウンサー)は、NHKで20年を超える放送経験を持つ著名なジャーナリスト。NHKの国際番組「池上彰の国際ニュース」の司会を務める。また、NHKの国際番組「池上彰の国際ニュース」の司会を務める。また、NHKの国際番組「池上彰の国際ニュース」の司会を務める。

第2部 JISSEN Global Fair
実践女子大学 渋谷キャンパス 15:00-16:30
創立120周年記念展
当日開催されたさまざまな実践女子学園のグローバルプログラムを知ってもらえるイベントです。
中野区立中野高等学校のグローバルプログラム
大田区立大田高等学校のグローバルプログラム
池上彰氏による基調講演
池上彰氏による基調講演
池上彰氏による基調講演

お問い合わせ
E-mail: jglobalway@jissen.ac.jp



Jissen Global Way開催



池上彰氏による基調講演



(参考)2024年度の取り組み(事例)

学内イベント ～留学生とのBBQ・東京観光・たこ焼きパーティー～

<留学生ウェルカムパーティー・BBQ>

5月に留学生ウェルカムパーティーとして、日野キャンパスにて、留学生と言文センターの先生とのBBQを実施。留学生は、自分たちの国の料理を用意、本学の学生も日本のお菓子やゲームなどを考えるなど、楽しい交流会となりました。

<東京観光ツアー>

5月にグローバルに関心のある学生が主体となった新しい取り組み「J-Global Community」の第1回目イベントとして、「留学生のための東京観光ツアー」を実施。留学生を、下北沢の古着屋さんやレトロな日本の雰囲気が漂うカフェに案内し、ユニークで楽しい時間を過ごしました。

<たこ焼きパーティー>

1月にはJ-Global Community主催のたこ焼きパーティーを実施。交換留学生だけではなく、日野市日本語学校の皆さんも招き、日野キャンパスで開催しました。



留学生ウェルカムパーティー BBQ



下北沢の古着屋さんでショッピング



たこ焼きパーティー



(参考)2024年度の取り組み(事例)

近隣施設とのグローバル連携 ～國學院大學、大使館イベント、企業イベントの参加

<國學院大學との連携>

4月初旬に今後の連携の打診を行い、2024年度は複数回、國學院大學のイベントに本学の学生が参加した。周辺施設が持つ身近なリソースを活用することで、本学学生のマインドセットの機会を設けることができる。

<大使館イベントへの参加>

2024年度は、5月にブルガリア大使館、6月にオーストラリア大使館、10月にニュージーランド大使館のイベントに本学の学生が参加。各大使館主催の意見交換会への参加やイベントサポートを行った。近隣の大使館やインターナショナルスクールのリストアップは完了したので、今度もこれらの機会提供を増加させるために、営業活動を行っていく。

<イングリッシュキャンプへの参加>

8月には、NOVAホールディングス株式会社主催による区立中学校生向けのイングリッシュキャンプに参加。同イベントのサポートを行った。



國學院大學留学生ウェルカムパーティー



オーストラリア大使館 留学フェア



NOVA イングリッシュキャンプ



(参考)協定校数

エリア・国別協定校数(2025年01月時点)

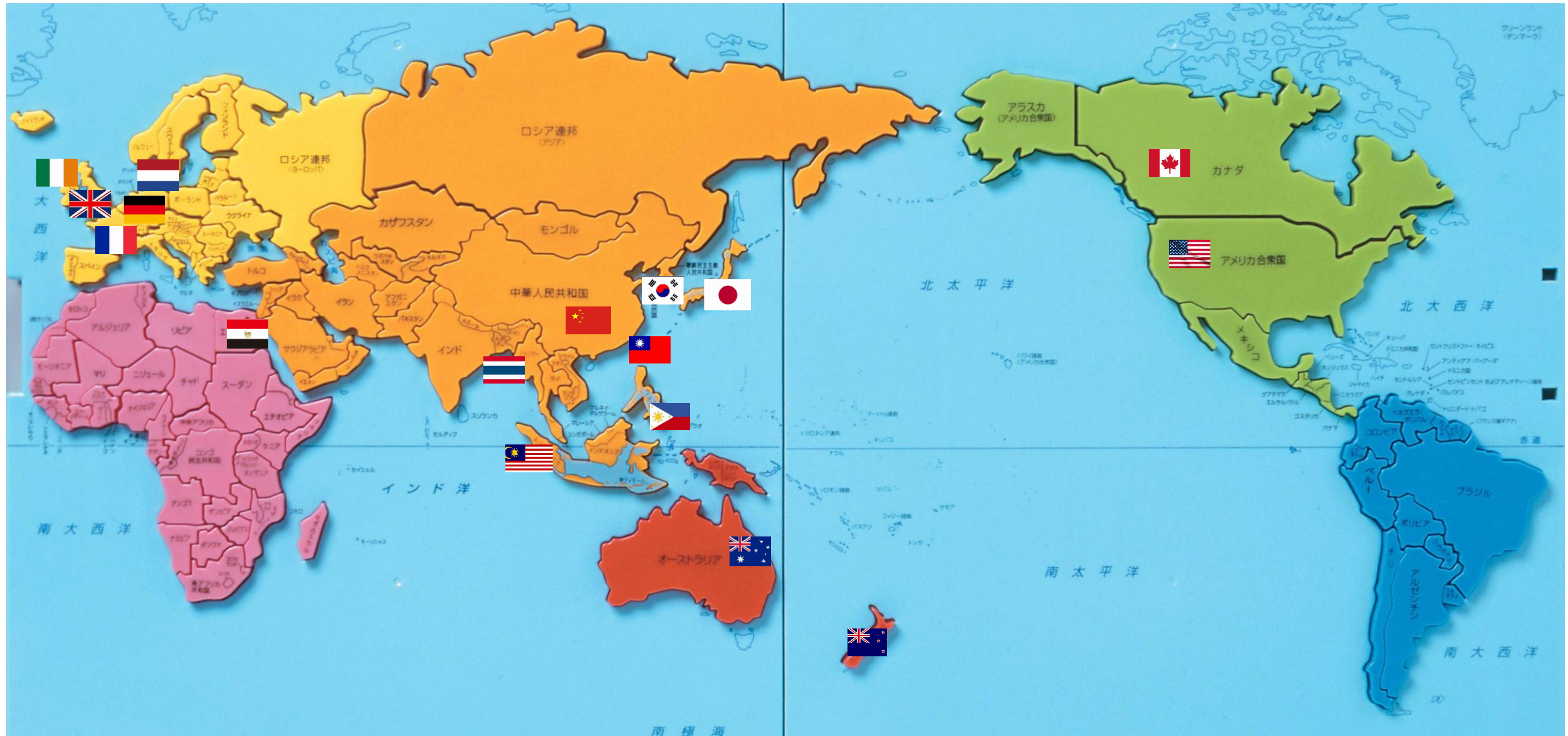
エリア	No.	国名	協定校数
北米	1	アメリカ	9
	2	カナダ	3
東アジア	3	韓国	5
	4	中国	2
	5	台湾	2
東南アジア	6	ベトナム	5
	7	フィリピン	3
	8	カンボジア	2
	9	タイ	4
	10	マレーシア	2
	11	インドネシア	1
オセアニア	12	オーストラリア	6
	13	ニュージーランド	1

エリア	No.	国名	協定校数
欧州	14	イギリス	2
	15	アイルランド	2
	16	オランダ	1
	17	ドイツ	1
	18	フランス	1
	19	リトアニア	1
	20	クロアチア	1
	21	ジョージア	1
	22	エストニア	1
アフリカ	23	エジプト	1

23カ国 57大学



協定校開拓推移 (2023.03.)



(参考)協定校数

協定校開拓推移 (2025.01.)



中学校高等学校のグローバル化推進について



中高のグローバル教育（地球市民教育）の位置づけ

多様な世界の中で人と生きる心を養い、協働スキルを身につける

グローバル教育

共感する心

×

挑戦する力

「地球市民として考え、足元から行動する人を育成すること」

地球に生きる一人として、公正で持続可能な平和な社会づくりに貢献することができるようになり、共感する心と挑戦する力を育てることを大切にしている。地球とヒトとのつながりを感じる体験活動を重視することにより、自分の殻を破って飛び立ち、壁にぶつかることで、少しずつ見えなかった世界を体験させる。

道徳
感性表現教育

教養 STEAM
教科教育

探究
課題解決力

行動
コミュニケーション

土台となる「未来デザイン（本校オリジナルの探究授業）」



中高のグローバル化推進の施策について

探究教育との連動

ESD（持続可能な開発のための教育）とGCED（グローバルシチズン教育）として、本校オリジナルの探究授業「未来デザイン」を展開している。様々なテーマで、異文化理解などグローバルな視点を養っている。未来デザインが評価されたことにより、2022年11月にはユネスコスクールとして認定され、さらに進化した教育を実施している。



模擬国連活動

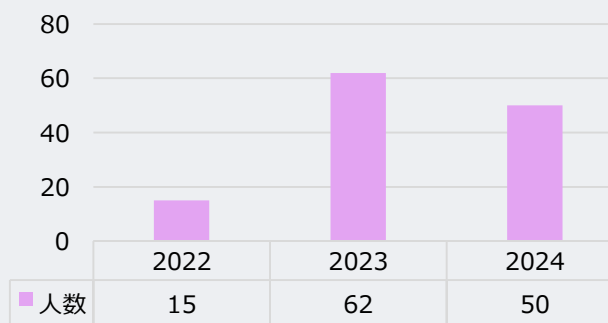
グローバル教育の発展形として模擬国連活動に注力している。グローバル研究部や有志の生徒が参加し、世界各国の大使の役を務めることで国際社会が抱える問題について理解を深め、議論や交渉などのスキルを向上させている。2023年度には2チームが全国大会に出場し、うち1チームは優秀大使賞を受賞し、日本代表としてNYでの世界大会に出場した。



多彩な海外研修・留学プログラム

海外研修	イギリス（UCL）・エストニア、フィンランド（アントレプレナー）・ニュージーランド（ESD）・モートンベイ（海洋科学）・ブリスベン（文化比較）
交換・派遣留学	タイ（国立カセサート大学附属高校）・中国（上海模範大学附属高校）・ドイツ（フェリクス・メンデルスゾーン・バーソルディ高校）・ニュージーランド（ニュージーランドランゲージセンターズ）
短期留学	オーストラリア（アデレード・10週間）

海外研修・留学プログラム参加者数



コロナ以後は、毎年50名以上の生徒が海外研修・留学プログラムに参加している。

日本文化実習

中1の必修科目。茶道、華道（桂古流・小原流）、箏曲（山田流・生田流）、和装着付、仕舞から興味のあるものを1つ選択して受講する。

日本の伝統文化を通して自国の良さや価値観を知ること、異なる文化を持つ他者を理解、尊敬することにつながる。中2以降もクラブ活動として継続することができる。



中高のグローバル化推進の施策について

グローバル体験機会

イベント名	内容	対象学年	参加人数
Science English Camp	毎年異なるテーマに基づいたアクティビティを3日間英語で行うプログラム	中1～3	約30名
ブリティッシュヒルズ研修	ブリティッシュヒルズ（福島）にてサイエンス、クッキングなど様々な授業を3日間実施	中2	約40名
異文化交流体験プログラム	グループに1人留学生が加わり、渋谷の街でフィールドワークを実施し、英語で発表（3日間）	中3	全員参加
ネイティブ教員による放課後講座	・Academic English（資格試験対策） ・Content Creation（動画制作） ・Time to Design（デザインやアート作品） ・Pop up Work shop（飾りつけの制作） ・English Writing Workshop（ライティング講座） ・STEAM（STEAMがテーマの講座）	講座による	講座による
選択制修学旅行	未来デザインの集大成。沖縄、シンガポール、台湾から選択（2024年度訪問地）	高1	全員参加



サイエンスイングリッシュキャンプ
2024年度は「宇宙」（JAXA・筑波大学等）



中2ブリティッシュヒルズ研修（福島）

その他、2024年度は韓国の「金海外国語高等学校」、「徽慶女子中学校」、「東州女子高等学校」との交流イベント、日本・インドグローバル協働プログラムの参加など、様々な体験プログラムを展開。特に、中学生から参加できるプログラムを多く実施している。



海外進学について

充実した海外進学へのサポート

- カダフルーザーバレー大学 への優先入学協定
- ニュージーランド 国立マッセイ大学 との指定校推薦制度
- UPAA（海外協定大学併願推薦制度）
- ネイティブ教員による 海外進学（エッセイ等）に関するサポート

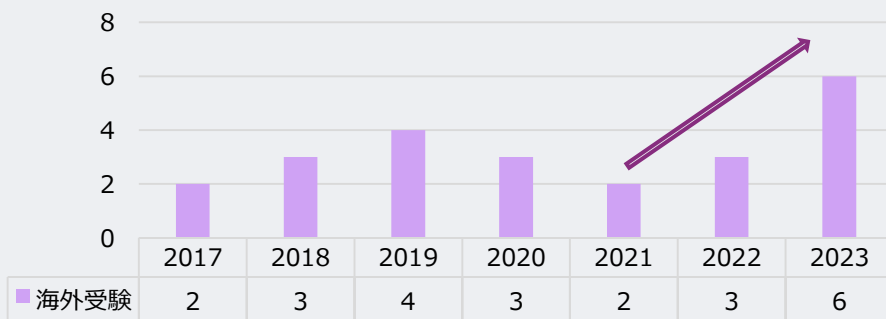
海外大学の合格実績（2021～2023年度卒業）

アジア、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、様々な国の大学に合格している

※ 給付奨学金獲得

- | | | |
|------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| ● 国立台湾大学 | ● University of Toronto | ● Lafayette College |
| ● 国立成功大学 ※ | ● University of British Columbia | ● Fordham University |
| ● 国立政治大学 | ● University of Buffalo | ● Mount Holyoke College |
| ● 輪仁大学 ※ | ● The University of Adelaide | ● Reed College |
| ● 中原大学 ※ | ● University of Western Australia | ● University of Exeter |
| ● 開南大学 | ● Griffith University | ● Cardiff University |
| ● 景文科技大学 | ● Union College ※ | ● Newcastle University |
| ● 醒吾科技大学 | ● DePauw University | ● Santa Monica College |
| ● 中国文化大学 | ● Knox College | ● Temple University, Japan Campus |
| ● 長栄大学 | ● Occidental College | ● Lakeland University Japan Campus |

卒業生の進路先（海外受験）



海外進学への関心の高まり

海外研修や留学など本格的なプログラムに加えて、中学3年生全員が参加する異文化体験プログラムや、希望者が気軽に参加できる体験型のグローバルプログラムも充実している。グローバル体験を通して、毎年複数の生徒が海外大学への進学を希望するようになり、2021年に最後のGSC（国際学級）の卒業生を送り出してから、その傾向は続いている。